

令和7年度第2回大船渡市防災学習ネットワーク運営協議会 議事要旨

| | |
|--------|--|
| 開催日時 | 令和8年3月26日（木）午後1時30分～午後3時00分 |
| 開催場所 | 大船渡市役所 地階大会議室 |
| 出席者 | 委員11名 柴山明寛委員、佐藤敬生委員、佐藤高廣委員、佐藤健委員、石橋英委員、鈴木満広委員、新沼晃委員、松川伸一委員、長岩智徳委員、山口浩雅委員、鈴木宏延水産課長（山岸委員代理） 事務局 防災管理室（伊藤次長、佐藤主幹、新沼主事、奥村主事補） |
| 議題（案件） | 1 開 会 2 会長あいさつ 3 協 議 令和7年度事業の実績について 4 その他 5 閉 会 |

1 開 会

2 会長あいさつ（柴山会長）

震災から15年が経過し、各地で震災伝承に関する報道や取組が増えている一方で、伝承施設の来場者減少やデジタルアーカイブの閉鎖など、時間の経過とともに縮小している側面も見られる。原因は様々あると思うが、15年が経過する中で法制度や社会状況が変化しており、当時の対応と現在の対応には大きな違いがある。震災当時の教訓は多くが今でも活かせるが、変化した部分については見直しが必要であり、今後はそうした変化に対応していく必要がある。

陸前高田市の東日本大震災津波伝承館においても、展示内容の見直しに関する議論が始まっている。開館から約6年が経過しており、展示内容を発展させながら更新していく必要があると考える。

大船渡市においても同様に、伝える内容を検討しながら発展していくことが重要となる。来場者の減少や市民の防災意識の低下も懸念されるため、本ネットワークを通じて市民の機運を高めるとともに、市外からの来訪者にも教訓を学んでいただく取組を継続していきたいと考えている。

3 協 議

令和7年度事業実績について

事務局より、資料1について説明した。

<意見・質疑応答>

○ 石橋委員

SNSの情報発信頻度が少ないように感じる。単なる事実の報告だけでなく、震災当時のエピソードや過去と現在の比較写真を投稿するなど、効果的だと思う。週1回程度でも継続できればよいと感じる。

→ 事務局

過去の写真の投稿は有効だと思う。投稿頻度を上げることは難しい部分もあるが、できる限り情報発信は増やしていきたいと考えている。防災に関する情報は関心が高い傾向もあるため、積極的に発信していきたい。

→ 柴山会長

本来は毎週の発信が望ましいと考える。月1回では少ないため、例えば月命日に防災グッズを紹介するなど、簡単な内容でも継続することが重要である。

○ 佐藤健委員

市の公式 X はフォロワーが1万人を超えており、近隣自治体と比較しても非常に多い状況である。投稿を増やすことで、さらにフォロワーの増加につながると思う。

→ 柴山会長

Xだけでなく、他の媒体も含めて検討が必要だと思う。フォロワー数の多さは大きな強みであり、十分に活用すべきである。

○ 山口委員

防災学習館の活用促進について、学校訪問を行った感触はどうか。

→ 事務局

これまで校長会議での紹介のみであったため、校長先生は防災学習館について把握しているが、現場の先生まで十分に情報が伝わっていない状況が確認された。教務主任や副校長への働きかけが必要だと感じた。

また、これまで陸前高田市や釜石市の伝承施設を利用していたが、市内にこのような施設があるのであれば活用したいという声もあった。

→ 山口委員

学校となると移動手段の問題もあると考えられる。徒歩で行ける学校は利用しやすいが、そうでない学校は難しい部分がある。

→ 事務局

市バスの活用についても提案している。今年度は中学校を訪問したが、今後は小学校も訪問していく。

→ 柴山会長

単に施設見学を促すだけでなく、防災学習と組み合わせたプログラムとして整理することが重要である。

○ 鈴木委員

博物館では「今日は何の日」という形で、過去の津波等について発信している。過去の災害と結び付けて情報発信していけば、記憶の風化も防ぐことができる。展示の改修については、博物館では継続してパネル展示や写真展示の改修を行っている。

教育旅行については、1校(341人)のほかに、市内の小学校について年間5~6件は受け入れている。その際には地震・津波コーナーまで案内し、紹介している。

→ 柴山会長

博物館の利用に併せて他施設を紹介する形で周遊していただくなど、ネットワークとしての連携を強化することが重要である。

- 事務局
ネットワークの各施設から情報を収集し、連携していく。来年度の体制では職員数も増えるため、これまでより対応体制は強化されると考えている。
- 鈴木水産課長
魚市場も防災関係に限らず、年々利用者数が減少している。ネットワークを機能させ、各施設を周遊させるような取組を促進することが必要だと思う。
- 柴山会長
周遊を促すことは、防災学習ネットワークの本来の目的であるため、今後しっかり取り組む必要がある。
- 佐藤高廣委員
東北復興ツーリズムについて、ファムツアー等に大船渡市の施設が一つも含まれていない現状であるが、認識や方針について確認したい。
- 事務局
これまで十分に組み合わせていない部分である。今後はプラン形成や情報発信を強化し、交流人口の拡大につなげていきたい。
- 佐藤高廣委員
資料にアンケート結果を記載しているが、ネガティブな内容が多く、オンライン会議等は活用できるものなのか。
- 事務局
各施設で利用者が減っていることを課題として掲載したものである。良い事例や参考となる取組もあるため、活用し資料に反映させていきたい。
- 柴山会長
アクセスの課題はどの施設にも共通しているため、どのように改善するか、また魅力を高めて来訪につなげる必要がある。ツーリズムのモデルコースには、市から情報提供しなければ基本的には組み込まれないため、積極的に発信する必要がある。
- 山口委員
防災イベントの中に防災訓練が含まれていないのは違和感がある。
- 事務局
ご指摘のとおりである。今後はイベントとして記載する。
- 佐藤敬生委員
各団体との連携の中で、キャッセン大船渡と連携してプランを調整するとあるが、プランの確立はいつ頃になるのか。商談等で紹介したい。
- 事務局
打合せがスタートしたばかりで明確には決まっていないが、早期に形成し共有していきたい。
- 柴山会長
キャッセン大船渡とも話をし、連携していく方針で進めることは確認できたため、早期に取り組んで資料を作成し提案して欲しい。
- 長岩委員
潮風トレイルとの連携も可能ではないか。

→ 事務局

林野火災のエリアが潮風トレイルのルートに含まれているため、活用しながら震災伝承施設の利用につなげることができると考える。観光部署とも協議していく。

→ 柴山会長

潮風トレイルだけでなく、他のイベントとも連携することで相乗効果が期待できる。

○ 松川委員

防災学習ネットワークの取組の基盤は、ネットワーク形成基本計画であると認識している。各施設との連携やコーディネート業務についても、指定管理者と調整する必要がある。

また、基本計画策定から5年が経過しており、場合によっては計画の見直しも必要だと考える。

→ 柴山会長

まずは基本計画を目標として取組を進め、その中で不具合が生じた場合に計画を改訂していく形でよいと考える。

○ 新沼委員

消防団にも公式 X がある。林野火災発生日の2月26日には発信していないようだが、月命日等に災害の情報を発信し、そこに防災情報を付け加えると効果的と考える。

防災センターでは救命講習等で多くの方に参加いただいているため、学習館等と結び付ける取組ができればよいと思う。

→ 事務局

情報発信も含め、各団体の活動状況や意見を踏まえて進めていきたい。資料への実績掲載のほか、SNSでも発信できるため、活動実績等の情報提供を引き続きお願いしたい。

→ 柴山会長

消防団活動なども市の X で投稿できれば相乗効果が得られる。各団体のイベントに参加し、写真を投稿するなどの取組も検討してほしい。

○ 佐藤健委員

林野火災から1年という節目の年であり、復興に向けた情報発信を行うことで、復興のモデルケースを確立できれば、来訪者の増加にもつながると思う。

○ 鈴木委員

博物館では来年度、明治三陸津波から130年という節目にあたり、6月15日を中心に地震・津波に関する展示を予定している。また、大学教授による講演会の開催も計画しているため、ネットワーク構成員には連携・協力をお願いしたい。

→ 柴山会長

協力する中で、ネットワークの取組の一環であることを発信できると連携やPRにつながる。

○ 柴山会長

津波伝承会が終了するとのことだが、伝承会で収集した資料や展示物の取扱いについて見解はあるか。

→ 事務局

資料等は市で引き受ける方向で検討している。

→ 柴山会長

引き受けるだけでなく、それらをどのように活用していくかのプラン提示が必要である。防災学習館での活用や他施設への貸出、企画展の実施など、様々な方法が考えられる。調整すべき点も多いため、引き続き検討してほしい。

○ 佐藤敬生委員

津波伝承会の展示はこれまで、おおふなぼーとで実施しており、ホームページ等を見て来訪される方も多し。常設展示ができないため、見られない利用者もいる。ゲートウェイ機能もあることから、情報発信も含め、おおふなぼーとを中心に展示する仕組みができればよいと考える。

→ 柴山会長

様々なプランがあると思う。おおふなぼーとは規約上、常設展示が難しい面もあるが、来訪者が気軽に見られる場所が必要であるため、目に付きやすい場所への設置が望ましい。

4 その他

特になし

5 閉 会